

ふるさと沼津第一



沼津麓校区の 歴史探索

平成 28 年 6 月 15 日 第 1 号

発行：第一地区コミュニティ推進委員会



この会報誌は第一地区の歴史発見事業の一環です

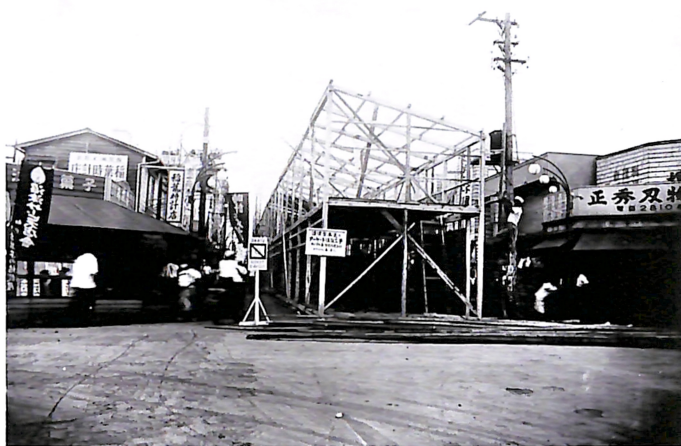
町人のまち町方町

誰もが憧れた本ブラ

町方町は、明治5年の沼津城廃城後、町域となり、さらに大正2年の沼津大火後によって行われた区画整理事業後、本町の通りが北に延伸され、現在の町方町の地域となりました。

江戸時代以降、沼津の繁華街といえは本町でしたが、徐々に賑わいは北上し、町方町は一番の繁華街とされるようになりました。

下本町と町方町を結ぶ幹線を



「本通り」と呼び、人々は憧れを込めて、この界限を散策するのとを「本ブラ」と呼びました。

昭和28年



西側工事完成

には、日本初のアーケード商店街としての建設に着手しました。商店街が一致団結し取り組んだ難事業でした。工事期間中は、前面の道路上に仮店舗を建てて、商売を継続しながら、12月に西側の完成、翌年11月に全面完成となりました。

昭和28年9月に開店した松菱デパートと相俟って、人々の夢が詰まった新しい商店街は、連日近隣からの買い物客でこった返し、各地からの視察も絶えませんでした。

その後、大型商業施設の進出やモータリゼーションの進展により、商業地域拡散が始まりました。

町名の由来を尋ねる

～町方町～

上 土町の西側一帯の地域は、江戸時代には沼津城に接する地域でした。明治5年の沼津城廃城後は、町域となり、本町や上土町に接する町人のまちとなりました。町や人に関係する事務を担う町方役所があったとされ、こうしたことから「町方町」と称されるようになったと言われています。

このコラムの内容は、静岡新聞社発行の「町名の由来」などを参考に作成したものです。

町名の由来

静岡 清水 浜松 沼津



わたしの思い出

あの時のこと

このまちなみは、この人に聞け！

このコーナーでは小学校の思い出や空襲後焼け野原となったまちが、復興を遂げていくさまなどを、まちの「重鎮」にお聞きします。

○小学生のころの思い出をお聞かせ願えますか？

（小野）私が入学した第一小学校は、カワラ屋根の立派な建物でした。しかし、この校舎は昭和20年の空襲で焼失してしまいました。当時、私は裾野に疎開していたのですが、沼津の方角を見ると空が真っ赤に燃え上がっていたのを覚えています。八月、戦争が終わり、小学校の校舎も杉葺きのバラックながら再建されました。

（西家）私は生まれは町方町だったのですが、小学生のころには白銀町へ越しました。空襲の後、奇跡的に私の家は焼け残りました。焼け出された人々が、私の家に大勢詰めかけたのを覚えています。

戦後の町方町あたりには、闇市のようなものがあり、小学校が焼けてしまったものだから、戦災を免れた駅北の学校へ登校するついでに、ぶらぶらと見て回ったものです。

○町方町のことで知っていることを

教えてください。

（西家）私の祖父から聞いた話ですが、大正2年にあった沼津の大火事で焼け出された人が、上土のほうから町方町に移ってきました。

当時の賑わいの中心は下本町あたりでしたが、道が北側に伸び、そして今の正秀さんのあたりに大正5年に「沼津座」が竣工しました。この沼津座は、祖父の西家重太郎が座長でしたが、当時2000人の収容ができる大きな劇場であり、あらゆる芸能が集まる一大興業地でした。町方町の賑わいはここから始まったのだと思います。

（取材 ■ 海野、長谷川、山崎）

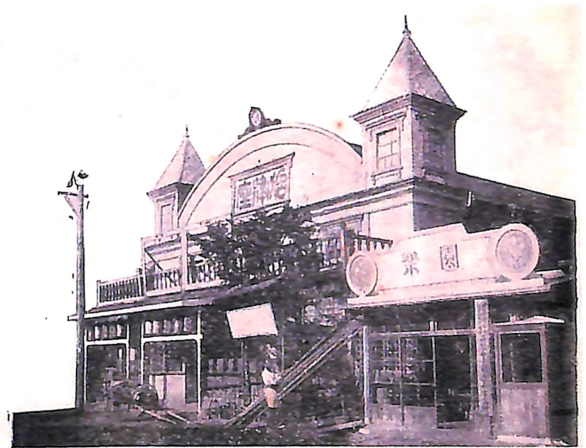
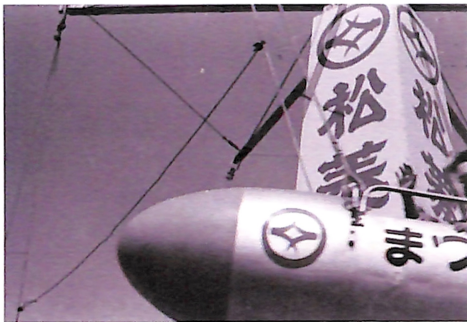


思い出を語る左：西家孝重さん（80歳）と
右：小野光正さん（79歳）



お宝写真コーナー

▶ 松菱屋上の飛行機
（大手町…今井さん提供）



▲沼津座。（白銀町：西家さん提供）

求ム！ まちのお宝

昔の写真や資料の情報をお寄せ下さい

1868年、日本最初の近代的小学校とされる代戯館（だいぎかん）が現在の上本通り付近に開設されました。これが沼津市立第一小学校の前身となっています。

平成30年に創立150周年を迎えることを記念して、第一地区コミュニティ推進委員会では、歴史再発見事業を行うことしました。今年は、いろいろな資料を集めていく予定ですのでご協力をお願いします。

みなさんのお宅に眠っている昔のまちなみの写真や懐かしい道具がありましたら、お知らせください。

